

2019年3月

立つ鳥 跡を濁さず

群馬大学 小林春夫

石川信宣 技術専門職員が2019年3月末にて再雇用終了で群馬大学を「卒業」する。
長年にわたり、群馬大学、研究室に多大な貢献をしてもらい深く感謝の意を表したい。

経営学者 ピーター・ドラッカーの言葉に「**何によって憶えられたいかを考えて生きよ**」
とある。筆者にとって石川氏は下記によってこれからも憶えていることになろう。

- 研究室学生への就職指導・進路指導、的確なアドバイス
- 研究室のもろもろの仕事を引き受けてくれる
その結果 石川氏は多くの学生、卒業生に慕われる。

「**仕事の報酬は仕事**」という考え方がある。良い仕事をすればよい仕事が回ってくる。
これに加えて大学のような教育機関では「**仕事の報酬は人**」の要素があると感じた。
良い仕事をすれば 学生や学外の人が集まってくる

- 群馬大学アナログ集積回路研究会 事務局 として10年以上にわたり
同研究会のために尽力してくれた。

<https://kobaweb.ei.st.gunma-u.ac.jp/analog-web/analogworkshop.html>

- 栃木県日光市（輪王寺、日光東照宮）での2019年8月の国際会議の開催の道筋を
つけてくれた。これまで電気電子工学分野では日光で国際会議・国内会議が開催
されたことは筆者の知る限り「ない」。
これが順調に開催・終了できれば石川氏の大きな社会業績になると思う。

<https://kobaweb.ei.st.gunma-u.ac.jp/TJCAS/2019TJCAS.html>

- 群馬県伊香保温泉でのLSIテスト関係分野のFTC研究会の開催でも、
参加研究者が大満足する会場アレンジをしてくれた。

<https://kobaweb.ei.st.gunma-u.ac.jp/warehouse/FTC75th2016-7-14rev2.pdf>

- 米国の大学では 卒業式を commencement (出発) という。
石川氏の次の人生への出発を祝いたい。



2013年 ベトナム ポーチミン市開催の国際会議にて



2008年 中国 澳門市での国際会議にて